

証券コード：5269

第87期 中間報告書

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より日本コンクリート工業グループをご支援いただき誠にありがとうございます。

第87期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当事業年度（平成29年度）上半期のわが国経済は、生産・輸出・設備投資の改善、企業収益や雇用環境の改善などにより、所得が改善され個人消費が緩慢ながらも持ち直し、回復基調となりました。一方で、世界経済は米国トランプ政権の政策運営や北朝鮮の核開発問題など政治リスクの高まりにより、先行き不透明な状況となっております。

このような中において当社グループの当第2四半期の業績につきましては、コンクリート二次製品事業のうちポール製品事業におきまして出荷量が業界全体で減少し、当社も売上が前年を下回った一方で、土木製品事業におきましてはセグメント製品の売上が増加しました。基礎事業におきましてはコンクリートパイル業界全体の出荷量が前年並みとなりましたが、以前より取り組んでおりました営業活動の強化などにより売上を伸ばしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は218億92百万円（前年同期比35.2%増）、営業利益は10億97百万円（前年同期比146.1%増）、経常利益は13億1百万円（前年同期比128.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億15百万円（前年同期比144.7%増）と前年同期比増収増益となりました。

中間配当につきましては、前年第2四半期比50銭増額の1株につき3円50銭とさせていただきます。なお、期末配当につきましても同額の1株につき3円50銭、あわせて年間7円（前年6円）を予定しております。

当社は2015年中期経営計画大綱（以下、「15中経」）の最後の年を迎えました。15中経に掲げました「コア事業の強化」と「育成事業の事業化」の2つの重点課題につきましては、当第2四半期におきまして実施しました取り組みをご紹介します。

まず「コア事業の強化」につきましては、基礎事業では適切な人員配置など営業力の強化に努め、需要を確実に取り込んでまいりました。ポール製品事業では長尺物輸送に対応した分割柱需要への対応として、営業および製品開発に取り組んでまいりました。土木製品

表紙の写真



NC&MaGa Co., Ltd.
モーラマイシン工場
(ミャンマー国モン州)

P.7トピックス参照

目次

株主のみなさまへ	P 1	トピックス	P 7
第2四半期連結決算ハイライト	P 3	グループ	P 8
セグメント別の概況	P 4	会社情報/株式情報	P 9
連結財務諸表	P 5		

事業のうちRCセグメントにつきましては、製造子会社NCセグメント株式会社の3番目の製造工場を三重県鈴鹿市内に建設を進めており、営業部門・製造部門が力を合わせ、大型案件の受注と生産拡大に努めてまいりました。一方、「育成事業の事業化」につきましては、海外事業におきましてミャンマー国現地企業とともに設立しました合併会社NC&MaGa Co., Ltd.の工場が、本格的に始動しました（P.7トピックス参照）。また、インドネシアおよびタイにおいても技術協力コンサルティングを行っております。環境・エネルギー事業におきましては、製品化しましたリン・ヒ素除去材^{パデックス}PAdeCS、ポールリサイクル事業の展開に注力してまいりました。

前述しましたとおり、当事業年度は15中経の最終年であり、引き続き上記の取り組みにつきまして積極的に取り組んでまいります。また、製品のコストダウンを継続して行い、利益率の確保に努めてまいります。

当社はこれからも企業価値の向上を図り、株主のみならず皆さまのご期待に応えますとともに、社会の持続的発展に貢献していきたいと考えております。引き続き当社グループの事業活動にご理解いただくとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月



代表取締役会長兼 CEO

網谷勝彦

代表取締役社長兼 COO

土田伸浩

第2四半期連結決算ハイライト

■ 当第2四半期の概況

売上高

大径RCセグメントが順調に伸長したこと、および基礎事業の好調な受注により売上を伸ばした結果、前年同期比増収となりました。

営業利益

人員不足を補うための人材確保にかかる費用や調査研究費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上高の増収に伴う売上総利益の大幅な増益により、営業利益も前年同期比大幅増益となりました。

経常利益

営業利益の増益に加え、持分法による投資利益が増加したことにより、経常利益は前年同期比増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益の増益に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比増益となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額 (%)
売上高	21,892	16,196	5,696 (35.2%)
営業利益	1,097	446	651 (146.1%)
経常利益	1,301	569	731 (128.5%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	815	333	482 (144.7%)

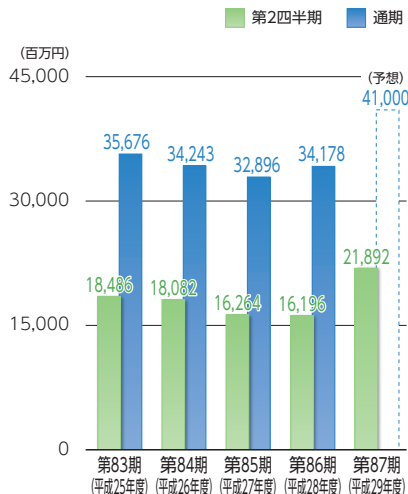
■ 通期の見通し

通期の連結業績の見通しにつきましては、次のとおりです。

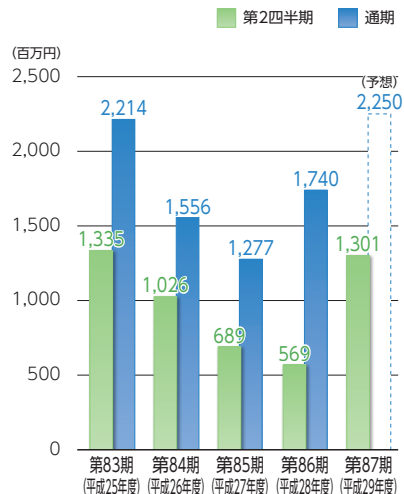
(単位：百万円)

売上高	41,000	(前期比20.0%増)
営業利益	2,000	(前期比35.0%増)
経常利益	2,250	(前期比29.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400	(前期比17.5%増)

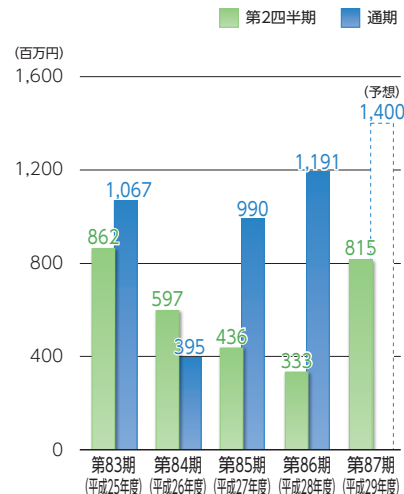
■ 売上高



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



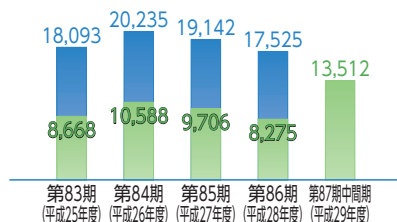
※第86期より不動産・太陽光発電事業による収益を売上計上しており、比較のため太陽光発電を開始しました第85期より数値の表示を変更しております。

セグメント別の概況

基礎事業

売上高 ■ 第2四半期 ■ 通期

135億12百万円 (前年同期比63.3%増)
(百万円)



基礎事業におきましては、コンクリートパイプ業界全体の出荷量が前年並みとなりましたが、以前より取り組んでおりました営業活動の強化などにより売上を伸ばし、売上高は135億12百万円 (前年同期比63.3%増)、セグメント利益は6億37百万円 (前年同期比494.4%増) となりました。

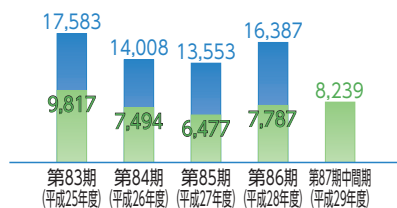


表紙の写真になっているNC&MaGa Co., Ltd.にて製造されたパイプ

コンクリート二次製品事業

売上高 ■ 第2四半期 ■ 通期

82億39百万円 (前年同期比5.8%増)
(百万円)



コンクリート二次製品事業のうち、ポール製品事業につきましては、出荷量が業界全体で減少し、当社も出荷が前年を下回ったため、売上高は50億95百万円 (前年同期比6.3%減) となりました。土木製品事業につきましては、RCセグメントが安定的な生産を継続しており、売上高は31億43百万円 (前年同期比33.9%増) となりました。この結果、コンクリート二次製品事業の売上高は82億39百万円 (前年同期比5.8%増)、セグメント利益は11億5百万円 (前年同期比22.7%増) となりました。



建材関連イベントでの出展ブースの様子
吸音建材ポアセルなど当社製品を建材イベント等にてご紹介しております。

不動産・太陽光発電事業

当第2四半期における売上高は1億41百万円 (前年同期比6.3%増)、セグメント利益は75百万円 (前年同期比5.9%増) となりました。

連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

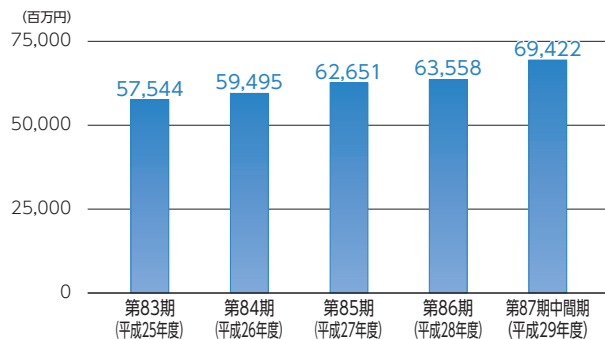
(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成29年9月30日現在	前期 平成29年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	27,004	22,384
現金及び預金	4,322	3,895
受取手形及び売掛金	11,105	8,815
商品及び製品	4,525	4,452
仕掛品	1,550	1,585
原材料及び貯蔵品	940	988
その他	4,559	2,646
固定資産	42,418	41,173
有形固定資産	24,293	24,468
土地	15,746	15,742
その他（純額）	8,547	8,725
無形固定資産	70	79
投資その他の資産	18,054	16,625
投資有価証券	15,490	14,073
その他	2,588	2,576
貸倒引当金	△ 24	△ 24
資産合計	69,422	63,558

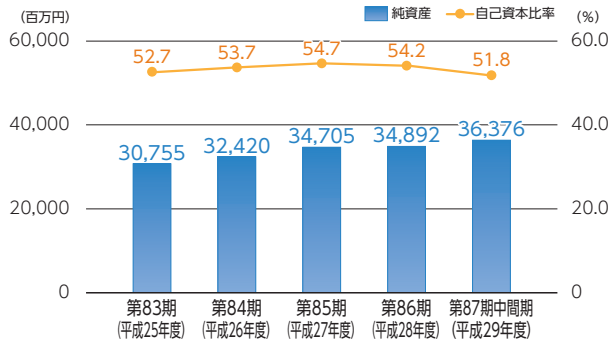
(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成29年9月30日現在	前期 平成29年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	21,240	17,000
支払手形及び買掛金	4,941	4,101
電子記録債務	8,813	6,132
短期借入金（含む1年内長期）	3,653	3,451
その他	3,832	3,315
固定負債	11,806	11,665
長期借入金	4,412	4,591
退職給付に係る負債	484	445
その他	6,909	6,628
負債合計	33,046	28,665
■ 純資産の部		
株主資本	24,640	23,987
資本金	5,111	5,111
資本剰余金	3,536	3,535
利益剰余金	16,155	15,512
自己株式	△ 163	△ 172
その他の包括利益累計額	11,294	10,480
その他有価証券評価差額金	5,478	4,674
土地再評価差額金	5,312	5,312
退職給付に係る調整累計額	502	494
非支配株主持分	441	423
純資産合計	36,376	34,892
負債純資産合計	69,422	63,558

■ 総資産



■ 純資産／自己資本比率

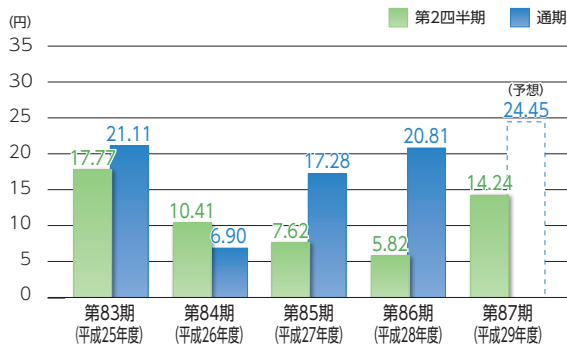


第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
売上高	21,892	16,196
売上原価	18,495	13,692
売上総利益	3,397	2,504
販売費及び一般管理費	2,299	2,057
営業利益	1,097	446
営業外収益	261	184
受取利息及び配当金	134	124
持分法による投資利益	99	29
その他	26	29
営業外費用	57	61
支払利息	24	31
その他	33	30
経常利益	1,301	569
特別利益	60	38
特別損失	64	6
税金等調整前四半期純利益	1,297	601
法人税、住民税及び事業税	467	209
法人税等調整額	△ 5	95
法人税等合計	461	304
四半期純利益	835	297
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	19	△ 35
親会社株主に帰属する四半期純利益	815	333

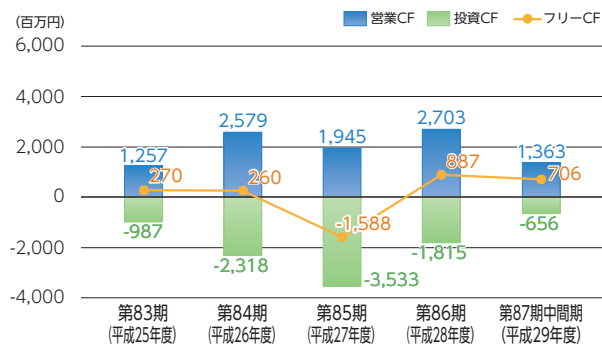
1株当たり四半期(当期)純利益



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
税金等調整前四半期純利益	1,297	601
減価償却費	803	736
持分法による投資損益(△は益)	△ 99	△ 29
売上債権の増減額(△は増加)	△ 4,193	647
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 20	△ 273
仕入債務の増減額(△は減少)	3,521	△ 944
その他	55	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,363	746
有形固定資産の取得による支出	△ 475	△ 769
その他	△ 181	△ 6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 656	△ 776
借入金・社債の増減額(△は減少)	△ 82	△ 174
配当金の支払額	△ 172	△ 200
その他	△ 25	△ 27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 279	△ 402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	426	△ 432
現金及び現金同等物の期首残高	3,895	3,487
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,322	3,054

フリーキャッシュ・フロー



ミャンマー国子会社 NC&MaGa Co., Ltd. 始動 ～ ミャンマー国電化率改善・日コングループ海外拠点モデルを目指して～

当社は平成27年にミャンマー国企業MaGa Manufacturing Co., Ltd.と、プレキャストコンクリート製品の製造販売を目的に合弁会社「NC&MaGa Co., Ltd.」（「NC&MaGa社」という。）を設立し、同国内でのコンクリートポール・パイルの製造を行うべく工場建設を進めてまいりました。

NC&MaGa社は無事に平成29年6月に製造工場の開所式を迎え、コンクリートポール・パイルの製造・販売を開始いたしました。開所式を迎えるまでに主力となる現地製造スタッフは日本国内で製造技術研修を行っており、日本国内と同じ技術・製造方法にて生産しております。

今後NC&MaGa社はコンクリートポールにより山村部へ電気を運ぶことによる電化率の改善、コンクリートパイルにより都市化の推進等のミャンマー国の発展の一助となり、さらには同社が日コングループの海外拠点モデルとなれるよう、引き続き努力してまいります。



開所式にて挨拶をする土田社長

※上記写真と左記文章の背景にあるマークはNC&MaGa社の社章になります。



NC&MaGa Co., Ltd. モーラミヤイン工場



網谷会長および土田社長が開所式の際に工場近くの小学校へ記念品を贈呈しました。

グループ



日本コンクリート工業グループ

生産拠点

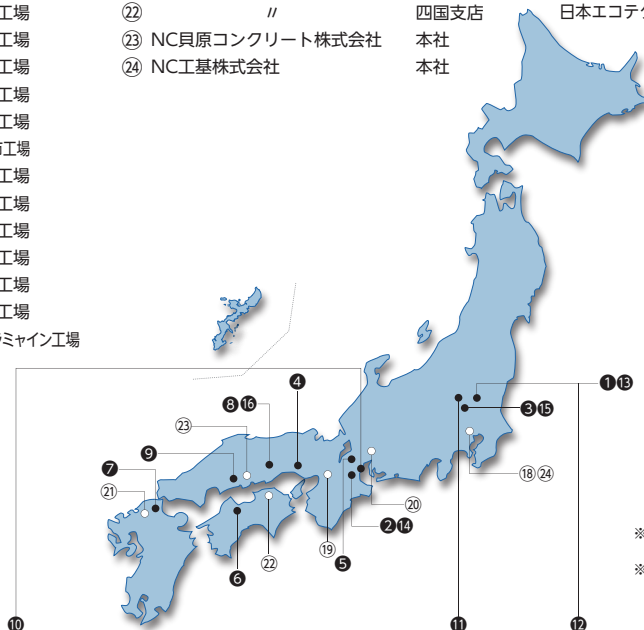
- | | |
|---------------------|-----------|
| ① NC東日本コンクリート工業株式会社 | 川島工場 |
| ② NC中日本コンクリート工業株式会社 | 鈴鹿工場 |
| ③ NC関東パイル製造株式会社 | 古河工場 |
| ④ NC西日本パイル製造株式会社 | 高砂工場 |
| ⑤ // | 滋賀工場 |
| ⑥ NC四国コンクリート工業株式会社 | 小松工場 |
| ⑦ NC九州株式会社 | 九州工場 |
| ⑧ NC貝原パイル製造株式会社 | 和氣工場 |
| ⑨ // | 笠岡工場 |
| ⑩ NC中部パイル製造株式会社 | 四日市工場 |
| ⑪ NCセグメント株式会社 | 板倉工場 |
| ⑫ // | 女方工場 |
| ⑬ NC日混工業株式会社 | 結城工場 |
| ⑭ // | 鈴鹿工場 |
| ⑮ // | 古河工場 |
| ⑯ NCプレコン株式会社 | 岡山工場 |
| ⑰ NC&MaGa Co., Ltd. | モーラミヤイン工場 |

営業拠点

- | | |
|------------------|-------|
| ⑱ 日本コンクリート工業株式会社 | 本社 |
| ⑲ // | 大阪支店 |
| ⑳ // | 名古屋支店 |
| ㉑ // | 九州支店 |
| ㉒ // | 四国支店 |
| ㉓ NC貝原コンクリート株式会社 | 本社 |
| ㉔ NC工基株式会社 | 本社 |

その他

- | | |
|------------------|----------|
| NCロジスティックス株式会社 | (茨城県筑西市) |
| NCマネジメントサービス株式会社 | (東京都港区) |
| NCユニオン興産株式会社 | (茨城県筑西市) |
| NCリビングサービス株式会社 | (東京都港区) |
| 日本エコテクノロジーズ株式会社 | (東京都港区) |



※日本国内の主な生産・営業拠点のみ地図上に記しております。
 ※上記のほか、当社のポール・パイル等の技術供与先12社と共同体制（NCグループ）を構築しております。



NC中部パイル製造株式会社 四日市工場



NCセグメント株式会社 板倉工場



NCセグメント株式会社 女方工場

■ 株式の状況

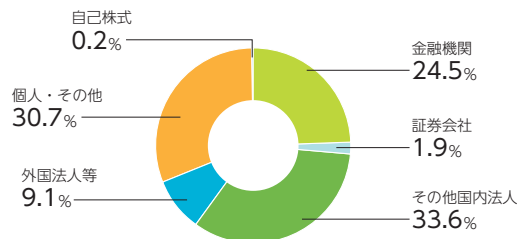
発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数	57,777,432株
株主数	6,975名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
新日鐵住金株式会社	6,940	12.03
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,634	6.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,918	5.06
日コン取引先持株会	2,362	4.09
日本電設工業株式会社	2,008	3.48
太平洋セメント株式会社	1,500	2.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,329	2.30
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	1,183	2.05
株式会社みずほ銀行	1,000	1.73
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	973	1.68

- (注) 1. 持株比率は、発行済株式の総数から自己保有株式118,723株を控除して計算、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。
2. 役員報酬BIP信託 (63,363株) および株式付与ESOP信託 (57,476株) が保有する当社株式は、上記自己保有株式には含めておりません。
3. 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループより平成29年2月20日付で提出された大量保有報告書により、株式会社三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJ国際投信株式会社および三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の4社で、平成29年2月13日現在で当社株式3,059千株 (提出時点における持株比率5.31% (自己株式を除く)) を保有している旨の報告を受けておりますが、当社としては当第2四半期末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

株式所有者別分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 公告掲載URL (http://www.ncic.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続きについては、上記三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤル (受付時間 平日9:00~17:00) で受け付けております。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



日本コンクリート工業株式会社

〒108-8560 東京都港区芝浦四丁目6番14号 (NC芝浦ビル)
TEL (03)3452-1021 <http://www.ncic.co.jp/>



NCポールマン

©日本コンクリート工業株式会社

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサルデ
ザインフォントを採用
しています。

